



～若き心 集まる場所～

No.10

茅ヶ崎市立鶴が台中学校長 力石 裕司

しんねん あ

新年明けましておめでとうございます。～「行動目標」で一歩ずつ進む2025年に！～

暦こまのかんけいが少すこしだけ長ながい13日間の冬休みが終わり、今日から学校が再開しました。冬休み前の最終日の集会で、私からは「新年の抱負」に関連して、3つの目標について話をしました。「〇〇みたいになりたい」といった『理想とする未来像』を示す【状態目標】、「そのために、～までに・・・する」といったその姿（ゴール）を具体的に示した【結果目標】、そして、「毎日～を・・・する」といった、より具体的な、その『ゴールに近づくための行動』を示した【行動目標】です。憧れや夢をもつことは大事ですが、その実現に向けて、小さな努力を積み重ねていくために、【行動目標】をしっかりと立てて、信念のスタートを切ってほしいと伝えました。私も個人的な趣味の世界の話ですが、この数年「やろう、やろう」という思いだけもち続けていたことについて、具体的な【行動目標】を決めました！保護者の皆様は、どのような『目標』を立てますか？

2025年、全ての台中生の穏やかで幸せな毎日が続くように・・・

ちょうど一年前の元旦の夕方、能登半島地震が発生し、石川県を中心に甚大な被害をもたらしました。一年が経った今でもなお、かつてのような安心した生活を送ることができない人たちが多くいます。地震発生後、行方不明になり、福井県沖で亡くなった状態で発見された中学生のニュースは、いつまでも記憶から消えません。その後も、子どもたちを巻き込む事故や事件が続き、年末には、北九州市で中学生が殺傷される事件もありました。将来の夢や希望に満ち溢れた中学生の尊い命が、何の前触れもなく奪われていくことに、言葉にできない悲しみを覚えます。昨年はそんなことが続いたせいか、今、全ての台中生が、多感な時期に様々な不安や悩みにぶつかりながらも、家庭や学校で安心しながら穏やかな毎日を過ごし、未来に向かって困難を乗り越えていく過程で、ゆっくりと一歩ずつ成長していくことを願って止みません。全ての台中生にとって2025年が素晴らしい年になりますように！



大観衆の前で“7組クリスマスコンサート”！

12月23日（月）昼休み、7組生徒によるXmasコンサートが開催されました。昼食の時間が終わると、南棟1階オープンスペースには100名を超える生徒が続々と集まってきて、会場は超満員・・・先生の合図で、7組の生徒が「きよしこの夜」と「ジングルベル」の2曲を演奏し、一日早いクリスマス気分が集まったたくさんの生徒たちの笑顔を運んでくれました！



『地域之力』を感じた“台中スポーツフェス2024”！

冬休み初日の12月25日（水）、急遽決まったイベントである“台中スポーツフェス2024”・・・天候にも恵まれ、無事に開催することができました！「台中生の心の笑顔のために！」と、教職員がチームとなり当日に向けて準備してきましたが、何よりも、学校運営協議会（コミュニティスクール）の委員の皆様、保護者会、こども応援丸の皆様をはじめとした地域の方々のご理解と多大なるご協力があった実現できたものでした。改めて、生徒たち、そして学校が、いかに地域に支えられているかを強く実感する機会となりました。

朝の開会式のあと、ソフトボール部、野球部、ソフトテニス部、剣道部と熱戦は続き、午前中の最後は陸上部とのリレー対決。そして昼は、地域の方々から前日の仕込みから当日の朝早くから用意していただいた300食分の豚汁と、茅ヶ崎市から提供していただいたアルファ米やカンパンを、生徒、保護者、地域の皆様、教職員が

一緒にいただきました。いつ起こるかわからない有事の際にも、地域が一体となり乗り越えていくため、このような機会は大切であると感じました。ご協力いただいた皆様から感謝します。

昼食後は、生徒会本部役員による〇×クイズに続き、ロータリーで吹奏楽部の野外コンサート♪クリスマスらしくトナカイの着ぐるみで登場した顧問の先生の指揮で、素敵な演奏を披露してくれました。

また、中庭では将棋部の“青空将棋”・・・先生方も加わり青空の下、普段と違う対局が行われました。

午後は、バレー部、バスケット部と続き、最後はサッカー部との決戦。この日をもって転校する1年生がボールをもつと応援の生徒たちから大きな声援が飛び交い、台中生の温かさを感じました。

家庭部は地域の方々と一緒に豚汁作りや配膳、美術部はポスター作成、書道部は着板作りと、運動部だけでなく、多くの生徒がイベントの成功に貢献しました。

最終結果は、仲良く3勝3敗1引き分け。香川小、鶴が台小の先生方が何人も生徒に会いに来てくれ、参加生徒、応援する生徒、教職員、保護者、地域の皆様・・・本当にたくさんの笑顔が見られた素敵な一日になりました。今後も、「地域と共にある学校」を目指し、『全ての台中生の心の笑顔と成長』のため、地域の皆様との協働の機会を探っていきたいと思います。(写真は校内に掲示しますので是非ご覧ください)



そうだ、“教室”へ行こう!



授業の様子・先生方のこだわりなどを発信します!

今回は2年1組 家庭科の授業です！先生は後期から本校の1,2年生の家庭科の授業を担当してくれていますが、生徒たちは既に先生の授業に慣れ、楽しく学習している姿が見られます。この日は2回目の調理実習。授業が終わり教室に戻る生徒たちからは「楽しかった～」との声が聞こえてきます！授業後の生徒インタビューでは、「みんなが授業を楽しんでいる」「ダメなところはしっかり注意してくれ、よいところは褒めてくれる」「わかりやすくて楽しい」・・・など、生徒が家庭科の授業で、楽しみながら安心して学んでいる様子が窺えました！

授業の様子の写真が入ります。

先生の授業へのこだわりは・・・？『家庭科は料理・裁縫というイメージが強いですが、それ以外にも生活に必要な「取捨選択する」「考える」力を育てる大切な教科だと思っています。授業を通じて、物事を多角的に見て他人に流されず自分の考えで行動できるように成長してほしいです。各自が家庭や学校で学ぶ中でたくさんの種をまき、いつか芽が出、花が咲き実るような豊かな生活ができる一助になりたいです。』

教頭先生のつぶやき・・・ 先日、校内のトイレ掃除をしていただいている方とお話をする機会がありました。

その際、「トイレの使い方はどうですか？」と問いかけたところ、「きれいに使ってくれていますよ。」「私に対して、“ありがとうございます！”と声をかけてくれる生徒さんがいて、うれしくなりました。」とお話されていました。その方の心の笑顔が見られた気がしました。台中生の振る舞いが、色々な方の「心の笑顔」に繋がっていることに私自身までうれしくなりました。